

学校 教育 目標	「ともに学びをきりひらいていく子どもの育成」				
	○「求め続ける子ども」～学びへの関心意欲を強くもち、常に学びを求め、自分から学び、学びの対象に粘り強くかかわることができる子どもを育てます。 ○「創り上げる子ども」～自分の思いや願いを大切に、進んで自己の改善を図り、質的な高まりを目指して、創造的に学ぼうとする子どもを育てます。 ○「共に生きる子ども」～「ひと」「もの」「こと」に積極的にかかわりながらそれぞれのよさを感じ取り、互いに支え合い、共に学び、学びや生活に生かしていく子どもを育てます。				
学校 概要	創立 149 周年	学校長	馬渡照代	副校長	右橋康彦
	2 学期制	一般学級:	20	個別支援学級:	4
	児童生徒数:	623 人	主な関係校: 南中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
A対象に心を寄せる。 B目標や願いを高める。 C自分の学びや成長に気付く。 D目標や願いの実現にむけて創意工夫して活動する。 E問題を把握し、解決の見通しをもつ。 F多様な情報を整理・分析する。 G自己を表現し、社会とつながる。 H他者を理解し、協働する。 I活用できる汎用的な知識・技能を身に付ける。	南中学校 井土ヶ谷小学校 大岡小学校	・自分に自信と誇りを持ち、夢の実現に向け進路選択できる子ども ・地域社会の一員として自覚を持ち、地域に関心をもって貢献し認められる子ども ・ブロック授業研究会の実施(年2回) ・小中学校での情報交換会の実施(卒業学年と中学校:年1回以上) ・中学校ブロック専任会の実施(月1回) ・部活動体験の実施(年1回) ・地域行事への参加

中期 取組 目標	【大岡小学校のよさ(子ども中心の教育、研究活動・授業改善を核にした学校経営、地域との深いつながり 等)を生かした「持続可能な」組織的取組】 <コロナ禍の中での基本方針>感染症対策をしっかりと講じた上で、学習指導要領の目標・内容を指導する。 ○改訂学習指導要領、市立学校カリキュラム・マネジメント要領に準拠しつつ、大岡小学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメントサイクルの実現 ○大岡小学校のよさを生かした職員協働体制の工夫(とくに、特別支援教育、児童指導、国際教室 等) ○大岡小学校にかかわる人すべてがそのよさを実感できる「働き方改革」の検討・実施 ○大岡小学校のよさがさらに発展するような、教育的資源(とくに財源)の確保

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①教育課程全体で育成を目指す資質・能力(A～I)が、一人一人の子どもに実現できるような学びを創るため、「生活・総合」を柱に据えて研究を推進する。(授業研究会の実施) ②教育課程全体で育成を目指す資質・能力を効果的に育成するために組織的に取り組む。(研究推進委員会・学習指導部の開催)
担当	研究推進委員会・学習指導部
豊かな心	①人権教育の充実を目指し、人権教育全体計画を策定し、それを評価・改善する。(人権教育全体計画の策定) ②児童活動等、子どもの主体的な活動を重視し、自尊感情を育む。(児童活動の時間の確保) ③道徳教育推進校として区道徳研と連携して研鑽を積み、授業力向上を図る。(区一斉授業研の実施)
担当	児童指導/地域連携部 児童活動部・道徳部
健やかな体	①「体育・健康プラン」を策定し、それに基づいた取組により健康・体力向上を図る。(体育・健康プランの策定・評価) ②学校保健委員会を通じて、子どもや保者の健康への意識・関心を高める。(学校保健委員会の実施) ③避難訓練等を通じて、健康・安全・防災・防犯の意識を高める。(健康安全的行事の実施)
担当	健康推進部・体育部 安全管理部
教育課程 ・学習指導	①改訂学習指導要領、横浜市立学校カリマネ要領に準拠した特色ある教育課程を編成・評価・改善する。(学級カリ・年間計画・週案の作成評価) ②キガスクール構想による取組を推進し、積極的にICTを活用することで、学習の効率や保護者との連携を進める。(学習指導部、視聴覚部でのGIGAの検討・推進)
担当	学習指導部・視聴覚部
特別支援教育	①個別の教育支援計画を作成し、子どもと保護者の思いに寄り添った支援に努める。(個別の教育支援計画、指導計画の作成) ②特別支援教育校内委員会を設置し、一人一人のニーズに応じた支援(個別支援級、国際教室、サポート教室等)ができるようにする。(特別支援教育校内委員会の開催)
担当	特別支援教育校内委員会
児童生徒指導	①配置型SSWを活用し、リスクのある子どもへの支援をモニタリングし、問題行動等の未然防止、早期発見、組織的対応に努める。(SSWによるモニタリング) ②リスクのある子どもの記録を蓄積し、客観的事実に基づいて問題解決型ケース会議を実施し、問題行動等の解決に努める。(ケース会議の実施)
担当	児童指導/地域連携部
地域連携 ・学校運営協議会	①学校運営協議会の実施方法等について、協議会長と事前に情報交流をし、質の高い学校運営協議会の運営に努める。(会長との事前検討) ②方法を工夫しながら、「大岡の時間」や行事等で地域と子どもがかかわる機会を設ける。「大岡の時間」の発信の工夫、地域行事への参加
担当	教務会 児童指導/地域連携部
	c8
担当	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を月1回以上開催し、いじめの早期発見、早期対応、組織的対応に努める。(いじめ防止対策委員会の開催・必要に応じたいじめアンケートの実施) ②学年主任、ブロックリーダー、専任、管理職で情報を共有しながら、組織的に対応する。(職員会議後の情報共有、教務会の実施)
担当	いじめ防止対策委員会
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①職場環境の改善に取り組むため、誰もが自分の意見を自由に発信できる風通しのよい職場にする。(ストレスチェックの結果改善) ②業務内容の見直しとそれを実現する組織改編について検討し、次年度に実現するよう計画的に取り組む。(教務会での検討) ③メンターチームの活動やブロックリーダーの設置、OJTなどを通して、キャリアステージに応じた人材育成に努める。(メンターチーム、教務会の実施)
担当	教務会・メンターチーム